

〈紹介文〉

玉田先生と北尾先生

今 井 由美子

玉田佳子先生は1973年4月に同志社女子大学学芸学部英文学科にご入学。1978年3月に卒業後、同志社女子大学大学院文学研究科へ進み、1982年3月に文学研究科修士課程修了後、2009年3月に関西大学で博士号（文学博士）を取得された。1983年4月に同志社女子大学嘱託講師となり、1985年4月に研究助手、1988年4月に専任講師となられた。1993年4月に同志社女子大学助教授、2001年4月に教授に昇任され、2021年3月で退職を迎えられた。校務については、2度の学生主任（1991年10月～1993年9月、2003年4月～2005年3月）、教務主任（2009年4月～2011年3月）、英語英文学科主任（2012年4月～2014年3月）を務められた。玉田先生のご専門は、それまであまり研究されなかったという「18世紀のイギリスの女性作家」であった。永年の会員であられる18世紀英文学研究会、日本英文学会、日本ジョンソン協会、日本18世紀学会、日本オースティン協会で、今後も研究活動を続けていかれることだろう。退職され1カ月。「いかがお過ごしですか」の問いには、玉田先生から「ゆっくりした時間が持てるようになり、心と生活にゆとりができました」のお返事。読書と韓流・華流ドラマを見ることがご趣味とのこと、これからはご両親の住む吉野と京都をゆっくり行き来しながら、本とドラマの世界への旅ももっともっと楽しんでいただきたいと願う。

キャスリーン北尾先生は、Idaho州Boiseで生まれ育ち、1979年5月にUniversity of Kansasで学士号を取得された。その後、Michigan State UniversityのCommunication学研究科において1986年に修士号、1988年に博士号を取得された。University of Kansas時代に、同大学に留学中だった

た北尾謙治青年（後に同志社大学文化情報学部教授）と出会い、結婚され、1980年に来日される。同志社女子大学、梅花女子短期大学、大阪樟蔭女子大学、関西外国語短期大学、奈良県立医科大学で嘱託講師を経て、1989年4月に同志社女子大学に専任講師として着任される。1992年4月に准教授、1999年4月に教授に昇任され、2021年3月に退職を迎えられた。永年にわたり北尾謙治先生と共に、異文化理解、言語教育、コミュニケーション、言語語用論分野を中心に研究を行い、数多くの教科書を執筆された。その数は50冊以上、リーディング、ライティング、TOEIC 対策など多岐に及ぶ。校務においては2度の宗教主任（1997年4月～1999年3月、2013年4月～2015年3月）、2度の同志社女子大学大学院文学研究科英語英文学専攻主任（2008年4月～2010年3月、2019年4月～2021年3月）を務められ、英語英文学科においてはAESコースの発展に尽力された。2017年に、同志社女子大学英語英文学会にキャスリーン北尾先生のご意思により「北尾謙治記念奨学金」が設立され、謙治先生のお名前が同志社女子大学英語英文学会に残ることとなった。毎年優秀な学生がこの奨学金に励まされ、勉学・研究にと役立てている。退職後、何度か北尾先生をデントン館でお見かけした。これまでに75の国や地域に足を運んでこられた北尾先生に、これからの人生のプランをお尋ねした。今後は手話を学びながら、一年のうち3、4カ月はケニアにあるろう学校でボランティア活動を続ける予定とのことである。北尾先生が子どもたちに囲まれている姿が早速目に浮かんだ。

玉田先生、北尾先生、最後になりましたが、これまでに至る学生の指導・育成、専門分野における研鑽、大学運営への貢献、そして何よりも英語英文学科ためにご尽力くださり、心より感謝いたします。玉田先生も北尾先生もお近くにお住まいです。どうぞ折をみて大学へおでかけください。